



全日本社会貢献団体機構 (AJOSCC) 発行

# AJOSCCかわら版

vol.45

## 社会貢献大賞表彰式・助成金贈呈式 第一報

全日本社会貢献団体機構は、7月21日(木)、第一ホテル東京において「第11回社会貢献大賞表彰式・平成28年度助成金贈呈式」を開催しました。

「周年記念安全・安心とふくしの街づくり」事業で社会貢献大賞を受賞した和歌山県遊協森口理事長からは「昨年は和歌山県遊協設立50周年、当組合が母体である社会福祉法人設立25周年の節目に当たる年であり、今回の受賞と先人の努力に恥じることのないように今後も継続して社会貢献の一翼を担えるように決意を新たにしています。節目の年として、安全・安心とふくしの街づくりを目指して、治安のよい地域環境に寄与する防犯カメラの設置、福祉施設から要望の多い送迎用自動車の寄贈を行い、また、平成3年から継続している福祉施設への助成金交付事業は、今までに1361件、総額では6億円を超えました。今回、先人の意志を引き継いだ長年にわたる地道な社会貢献活動に大きな光を当てていただき心から感謝しています」と挨拶と事業紹介がありました。

また、助成団体を代表して「福島の子どもたちが元気になる移動教室



こどもプロジェクト  
福田理事長



和歌山県遊協  
森口理事長

in上田」事業の特定非営利活動法人こどもプロジェクトの福田恵美理事長からは、「東日本大震災により、現在東京に約6000人が避難をしており、福島県からの方が半分以上になります。長野県上田市において「福島と福島から東京に避難をしている小学生を対象に春夏冬に2泊3泊の移動教室を開催します。自然体験や、食育プログラム等で、地域の方も参加していただきます。避難をしている子どもたちのストレス解消や福島では制限されている自然体験等を行い、元気になってもらいます」と挨拶と助成事業紹介がありました。

7月30日、31日、長野市ビッグハットで「信州環境フェア2016」が開催され、助成事業の「エコ工作教室」や小学生37人による「信濃町とうもろこし収穫体験」等が実施されました。これに合わせ当機構もブースを設け、当機構並びに会員である全日遊連の活動のパネル展示を行いました。連日とも多くの来場者の方から「この団体はどんなことをしているの?」と質問を受け、AJOSCC事業案内パンフレットを配布し当機構の活動を伝えました。2日間で長野の多くの方々にご来場いただき、当機構並びに全日遊連の社会貢献活動を理解していただくことができました。



信州環境フェア2016

心  
平成28年度助成事業 信州環境  
フェア2016「子どもたち  
環境について学んでもらおう」